

## 原子力規制人材育成事業

### 実践的な課題解決能力を持つ高度放射線防護人材の育成

**事業概要** 保健学科放射線技術科学専攻の学生および大学院生を主な対象に、九州大学、東北大学の人的資源、設備環境や強みを生かし、相互にプログラムの連携を図ることで事業に相乗効果を持たせ、放射線規制のエキスパートとして行政機関、また放射線防護の研究・教育現場を牽引できる人材を輩出する。

**対象:** **保健学科放射線技術科専攻**の学部生、大学院生等

#### 基盤

**放射線防護基盤教育プログラム**（九州大学、東北大学相互で実施）

- ・放射線防護・規制に関する講義（原子力規制庁職員や有識者による講師派遣含）
- ・モンテカルロシミュレーションによる放射線施設や環境、ヒトの線量評価演習
- ・放射線・原子力事故と災害に関するリスクコミュニケーション、被ばく相談対応の演習
- ・非密封RIの取扱い、放射線計測実習（モニタリング、スクリーニングを含む）

#### 実践 応用

**放射線規制人材育成プログラム**  
（九州大学で実施）

- ・放射線現場での放射線規制に関する課題について検討と議論の演習  
問題解決型学習
- ・医療用加速器の安全管理トレーニング  
加速器放射化物や汚染の評価、管理
- ・放射線施設の安全管理、事故対応に関する仮想現実(VR)トレーニング

**原子力災害対応人材育成プログラム**  
（東北大学で実施）

- ・演習福島第一原発等のオンサイトでのトレーニング  
環境放射線の測定と人体影響の推定
- ・原子力災害対策演習  
原発見学、原子力災害避難訓練、ホールボディカウンタの取扱い
- ・原子力災害対応放射線防護トレーニング

- ・放射線規制現場へのインターンシップ  
規制庁、アイソトープセンター、放射線管理室等へのインターン

#### 発展

**放射線防護研究支援プログラム**（九州大学、東北大学相互で実施）

- ・放射線防護関連テーマに対して、課題発表や研究発表をすることで、課題解決能力を鍛え、説明能力を身に付ける。

原子力規制、放射線防護に係る実践的な課題解決能力を持つ人材を輩出

- ・規制庁、関係する官公庁で活躍する行政担当者
- ・教育研究機関で活躍する教育者・研究者

#### スケジュール

初年度 放射線防護に関するプログラムの準備、カリキュラム改正の申請

2年目 既存の学内講義、演習等の中で試行

3年目 新カリキュラムでの実施、相互プログラムの実行

4年目 他大学や社会人にも対応したプログラムの試行

5年目 上記プログラムの展開